

平成27年度横浜国立大学法科大学院法学未修者コースA日程入学試験
小論文試験問題（試験時間90分）

問題1 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

出題者注：以下の文章は、幕末、新選組による池田屋襲撃事件の契機となった、古高俊太郎（別名：枅屋喜右衛門）という人物についての研究に先立ち、筆者が古高の供述書（の写し）の真正性について検討した部分である。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
中村武生『池田屋事件の研究』（講談社現代新書、2011年）
22頁4行目～12行目32字目
27頁4行目～11行目5字目
29頁11行目8字目～32頁12行目
33頁9行目～37頁4行目
原文の一部を省略し、また、見出しを省略している。

【問題】

- (1) 下線部 に『書付写』はホンモノではないかと、初めて思えてきた。」とあるが、その理由について、証拠となる資料についても言及しながら、説明しなさい（100字以上150字以内）。（配点15点）
（下線部 に該当するのは30頁15行目8字目～15行目末尾）
- (2) 空欄 を埋めなさい（20字以上40字以内）。（配点5点）
（空欄 に該当するのは31頁14行目9字目～31字目）
- (3) 筆者は最終的に「書付写」がホンモノだという確信に至っているが、筆者が確信に至った理由について、【問題】(1)で挙げたものの他に1つ挙げ、説明しなさい（90字以上100字以内）。（配点15点）

問題2 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。
なお、問題文は、次の文献から引用しております。
師岡康子『ヘイト・スピーチとは何か』（岩波新書、2013年）
146頁12行目～152頁6行目
原文の一部を省略し、また、見出し・小見出しを省略している。

【問題】

- (1) 下線部 の「一般論」とはどのようなものなのか、文中の言葉を用いて説明しなさい（100字以内）。（配点10点）
（下線部 に該当するのは150頁10行目26字目～28字目）
- (2) 下線部 の「その本質」とは何を指しているのか、文中の言葉を用いて説明しなさい（100字以内）。（配点10点）
（下線部 に該当するのは152頁6行目20字目～23字目）
- (3) わが国において「ヘイト・スピーチ」が社会問題化している原因について、あなたの考えを述べなさい（400字以内）。（配点15点）

（以上）